

第2次江田島市総合計画審議会（第9回）議事録

開催日時	平成27年1月14日（水）午後2時00分～4時00分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>木村 洋 広島県地域力創造課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長 山本 修司 企画部 部長</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】</p> <p>畑河内 真 企画振興課 課長 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	0人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 （1）パブリックコメントについて【資料1】 （2）第2次江田島市総合計画案について【資料2-1, 2-2, 2-3】 （3）第2次江田島市総合計画実施計画構成案について【資料3】 4 その他 5 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1：パブリックコメントについて 資料2-1：第2次江田島市総合計画案・基本計画 記載内容の整理事項について 資料2-2：第2次江田島市総合計画案の要点について 資料2-3：第2次江田島市総合計画案（基本計画抜粋） 資料3：第2次江田島市総合計画実施計画構成案について</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いいたします。 資料は、次第、委員名簿、資料1から資料3までございます。また、参考資料としまして、第8回審議会の議事録を付けております。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただいております。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第9回を開催いたします。 審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>新年あけましておめでとうございます。 今年最初の審議会で、予定する全10回のうち9回目となり、次回に向けて結論を出していく段階となります。 これまでの議論で、大体の方向性は見えたのではないかと思います。実施計画に関わる議論もあったかと思いますが、それについては、今後見直しをしながら実現させていくことになると思います。 欠席者が多くなっていますが、活発なご議論を期待しています。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は7名、欠席者は7名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、欠席者は江田島市老人クラブ連合会 前田委員、安芸地区医師会江田島ブロック 青木委員、江田島市社会福祉協議会 大石委員、江田島市農業委員会 村上委員、江田島市商工会 宇根川委員、江田島市観光協会 伊藤委員、学識経験者 広島大学 フンク委員の7名です。</p> <p>それでは審議会条例第7条第3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長をお願いします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>早速、次第にありますように、3（1）でパブリックコメントについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（1）パブリックコメントについて【資料1】</p> <p>それではパブリックコメントについて、ご説明いたします。 資料1を用いて説明いたしますので、ご覧ください。（「パブリックコメントについて」説明） ※内容は資料1のとおり</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 パブリックコメントを行った結果、意見が2件出されているということです。 何かご意見等はありませんでしょうか。</p> <p>基本的には、教育文化部門などで概ね盛り込まれている内容かと思います。 具体的な提案については、実施計画に盛り込んでいくことになる内容であり、見直しをしながら可能なものは臨機応変に事業として組み込んでいくという手順になると思います。 前回審議会でも出た道の駅と同様で、基本計画に文言としては出てこなくても、実施計画を決める際や見直しの際に取り組めるものは入れていくということです。</p>
<p>委員</p>	<p>良い意見を出していただいています。費用対効果として、費用を掛けて本当に収益が見込めるのかについて、しっかりと考えて進めていかなければならないと思います。 美術館や博物館などは、費用対効果などを検討した上で必要性を判断する方向で考えていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>提案されている施設を単独で建てても、未来を考えた場合にはあまり効果的ではないか と思います。 集客性に優れているのは、多目的、総合的な施設かと思いますので、江田島市の場合には 未来を見据えて検討してもらいたいと思います。 前回も話題になりましたが、能美海上ロッジや道の駅なども関わるかと思いますが、総合 的な点から判断して、具体的な施策に反映させていくのが良いかと思います。</p> <p>今回のパブリックコメントでは具体的な提案が多く、いずれもアイデアとしては良いか と思います。 外国人旅行者は特に仕掛けをしなくても、総合計画で掲げている1つ1つが評判になっ てくれば、自然と増えてくるかと思います。 こちらから仕掛けなければいけないものと、仕掛けた結果の波及効果をチェックするも のがあり、仕掛けをして、その後波及効果が自然と出てくるというのが一番良いのでは ないかと思います。 今まで8回の審議会を行ってきましたが、その中で仕掛けるポイントをリストアップし ており、どのような効果が出ているかをPDCAサイクルなどで検証しながら、随時手 を打っていただくということで期待したいと思います。</p> <p>それでは、パブリックコメントの意見も頭に置きながら、協議事項の（2）第2次江田 島市総合計画案について説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（2）第2次江田島市総合計画案について【資料2-1, 2-2, 2-3】 それでは第2次江田島市総合計画案について、ご説明いたします。 資料2-1から2-3を用いて説明いたしますので、ご覧ください。（「第2次江田島市総合 計画案」について説明） ※内容は資料2-1, 2-2, 2-3のとおり</p>
<p>会長</p>	<p>資料2-3が基本計画の本体で、本文の修正などが行われており赤字の部分も多くなっ ているかと思います。 また前回審議会での意見は重いものだったかと思いますが、それらについても反映され ている事かと思います。 最終ページについては、新たに付け足したものであるということです。PDCAサイクルを取 り入れて欲しいという指摘があり、その内容が基本計画にも盛り込まれたことになりま す。</p> <p>お気づきの点などないでしょうか。 前回の議事録に目を通すと、大事なポイントなどは資料2-1で対応がまとめられていま す。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

<p>委員</p>	<p>今日の資料は、これまでの審議会での議論が十分に取り入れられていますし、アンケートやパブリックコメント、ワークショップ等での住民の声も十分に吸い上げてもらっていると思います。</p> <p>そういうことから言うと、今日で審議を終わっても良い内容になっているかと思いません。</p> <p>P D C A サイクルについても、スタイルが集約されたので良いことだと思います。</p> <p>実施計画については、毎年ローリングして見直しされるということですが、国の政策も猫の目のように変わる状況です。話題の地方創生も、知恵のあるところにはお金を出しますという形なので、それに対応できるのではと思います。</p> <p>以前は、長期計画の中に記載していないと地方債を申請しても許可しないという事もあります。今後の交付税については自由に使えるものが増えてくるのだと思います。</p> <p>改善の部分に「国の動向など社会情勢の変化にも対応しつつ必要な見直しを行う」とあり、これらを踏まえてローリングを考えられていることについては非常に良いことだと思います。</p> <p>評価については、2つのポイントが書かれていますがこれは当然のことかと思いません。先ほど委員が言われたように、費用対効果の面からも随時目を光らせて、十分に検討をし、無駄なことをやっていないか、住民目線で「なぜそんなことをするのか」といったことがないような事業執行がされるようになればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>確かに補助金を国からもらうには、基本計画を出せと言われることがあります。事業をリストアップしただけじゃないかという感想を抱かれることもあるかと思いますが、実はリストにしておかないといけないものでもあります。</p> <p>交付金などを運用する際、補助金を申請する際にも基本計画を求められ、整合性があるかをチェックされることがありますので、良いご指摘を頂けたかと思いません。</p>
<p>委員</p>	<p>非常に良く整理されていて、良い物が出来ているなど感じました。</p> <p>その中で、審議会などを通じて皆さんの熱い思いがあるなど感じたのが、道の駅になります。</p> <p>また、修学旅行などで民泊をされた方が非常に感動されているというお話があり、やはり江田島市には良い資源があるのだということかと思いません。</p> <p>観光で交流人口を増やすと言うことを、特に切り出してやっていこうと言うことです。修正内容の説明にもありましたが、14頁で道の駅は「宿泊関連施設」に含んでいるという事だったかと思いません。ただ、道の駅のような施設を「宿泊関連施設」と括ってしまうのがどうかと感じます。</p> <p>道の駅はハード整備なのでお金がかかりますし、将来的なことも考えていかなければなりません。市民の皆さんもあればよいと思っておられること、県外の方がカキ等を素晴らしいよねと評価しておられること、また交流人口を増やしていこうという中で、市が持っている資源に触れて、買うという行動自体が長い目で見れば江田島市を応援することに近いかと思いません。</p> <p>東日本大震災でも、何があったかという、東北の物を買ってくださいという流れで応援に繋がりました。</p> <p>江田島に来て、楽しんで、好きになり、その評価の一つが買うという行為かと思いませんので、そういう施設がもう少し書きぶりの中に具体的に出てきても良いのかなと思いません。</p> <p>宿泊関連施設で能美海上ロッジというのはよくわかりますが、道の駅は見えてこないもので、もう少しニュアンスが出る書きぶりであれば、市民の意向であったり、交流人口の増加が図れるのかなと思いません。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

事務局	<p>審議会の中で意見を頂いたということで、再度検討できればと思います。</p> <p>宿泊関連施設という表記になった事情として、能美海上ロッジを含めた宿泊関連3施設の検討委員会を立ち上げており、その方針が出ていない段階であり、それよりも先行した段階で総合計画に書き込むことが出来ないという状況にあります。</p> <p>事務局としては、もう少し踏み込んで市民や委員の思いが色として着いた形で打ち出したいという考えはありますが、今は能美海上ロッジなどの検討を行っており、年度末に向けて整備方針を出そうかという段階に来ておりますので、そういった状況も斟酌していただければと思います。</p> <p>ご意見については、実施計画の中でもっと濃い書きぶりが出来るタイミングが来るかと思っておりますので、その中で対応させていただければと思います。</p> <p>宿泊施設の検討委員会も外部委員に検討していただいております、その場でも江田島に来たときに、江田島の良い物を紹介したり、食べたり、買っていただける施設がないので、この整備の機会にぜひ欲しいという意見も頂いているようですので、そういった施設が整備されるという方針が出る可能性もあるかと思っております。</p> <p>検討のタイミングがずれてしまっているため、申し訳ない部分もありますが、もう少し預らせていただければと思います。</p>
委員	<p>「宿泊物販施設」と書くと直接的になりすぎるのであれば、「宿泊観光関連施設」という位でも、道の駅も含まれていると読めるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>この部分の表題が「宿泊観光施設の整備」となっていますので、宿泊関連施設という表記を、もう少し検討させていただければと思います。</p>
会長	<p>この宿泊関連施設に関する議論については、議事録に記載しておいていただければと思います。</p>
委員	<p>商工会の関係で、11月頃に四国のしまなみ街道の視察をしたら、サザエなどを自分で焼いて食べるという場所があり、多くの方が来ておられました。</p> <p>当初は行政がやっておられたようですが、今は運営組織を立ち上げているようですし、自転車の駐輪場などがありサイクリストも多く来られていましたので、市も視察に行かれると良いのではないかと思います。</p> <p>もう1箇所、夕日がきれいだという伊予市の道の駅「ふたみ」にも行き、そこではじゃこ天の売り上げがすごく上がっているなど、良い事例だと思いました。</p> <p>他所と比較するわけではありませんが、そういうことをしている人の話は江田島にも関連があるだろうと思います。</p> <p>今の時期に民泊などに来られると、やはりカキというイメージを持っておられるので、やはりカキを焼いて食べられる場所があれば喜んで来てくれるのではないかと思います。</p>
会長	<p>宿泊関連施設に関連する所については、事務局で再検討していただければと思います。</p> <p>文言から能美海上ロッジが外されていますが、宿泊の中に民泊も入ってくるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ここはあくまでも施設のことであり、民泊は一般の家庭に家族のように泊まらせていただくという考え方のため、ここには含まれません。</p>
会長	<p>江田島の今までやってきた強み、民泊や文化活動、自然も含めて色々あるので、その強みを集約する場所や仕掛けを作って、そこに人を呼び込んでいければと思います。</p> <p>特に江田島では、教育・文化的な所で特色を出して、体験活動も含めて若い人や学生を呼び込んで、文化部門の所に集約していく仕掛けが必要なのではないかなと思います。</p> <p>そのためのインフラ整備ということも頭に置きながら、宿泊施設や観光施設を考えていただくことが良い方法かなと思います。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

事務局	<p>体験型の修学旅行については、企画部が主となって行っていますが、その際には産業部と連携を図っており、農業体験や漁業体験、観光の要素もあります。</p> <p>今年度は21校・約1,700人の方に体験型の修学旅行で来ていただいています。農業体験などの他にも、海を活かした学習の出来るさとうみ科学館の活用やカヌー体験などのアクティビティなども集約されつつある姿がありますので、第2次総合計画の中ではもう一段ブラッシュアップした形で事業展開できるようなものを目指していきたくと考えています。</p> <p>その中で、指摘いただいています、物販の関係で道の駅的な施設の整備もかみ合わせて歯車として回っていくような形になればよいかなと思いますので、もう少し踏み込んだ書き込みが出来るよう工夫をさせていただければと思います。</p>
会長	<p>その中に、パブリックコメントで意見のあったカキ博物館的な物があれば、修学旅行生を連れてインストラクターやガイドの方が説明することも出来る場所となるかと思えます。</p> <p>また、芸術家の方々に手伝っていただき、美術を指導してもらおうといったように、教育活動的な物とセットにしていくと特徴が出てくるのではないかなと思います。</p>
委員	<p>ワークショップに参加された皆さんが、道の駅を作ると良いと言われることが多くあります。道の駅以外にも色々な課題があり、宿泊施設も必要だと思いますし、全てを含めて検討されているということかと思えます。</p> <p>教育・文化部門を見ると修正が特に多くなっていますが、学校関連の内容も保護者が納得いく感じでは記載してあるかと思えます。気になるのは、数年前は正職員ではなく、臨時教員が多かったように感じられ、その若い教員達が勉強会などにも良く行かれていたのを感じていました。ただ、良い先生が残るかなと思ったら異動されたりもするので、質を上げると同時に、教職員の確保もお願いできればと思います。</p> <p>その他では、漁業の事で、初期の審議会でもカキの冷凍施設がないと言われていましたが、その辺りのことを検討することが感じられる内容に修正されており良いのではないかなと思います。</p>
委員	<p>水産は生食用よりも加工用の冷凍品がメインになりつつあります。</p> <p>近年では冷凍技術の進歩もあり、たこやヒラメ、メバルなども含めて冷凍した物を解凍すれば生鮮と変わらない様な状態で食べられる時代になっています。</p> <p>漁獲時期にそのまま市場に出すと安くなり、冷凍して違う時期に出すと販売価格も大きく違ってきており、これからは冷凍施設がないと販売が出来なくなりつつあります。</p> <p>その辺りのことも含めて、漁業組合も危機感を持って生産・販売方法を考えていかなければならないと思いますので、遊休施設などを使わせていただきながらでも進めていければと思います。</p>
会長	<p>これからの10年で、繋がりを持ちつつ、カキを買える、食べることが出来る体制を作っていただければと思います。</p>
委員	<p>商工会が1月16日、17日と東京のアンテナショップでスッポンやカキ、いりこ、イタリアンロール、日本酒などの売り込みに行くようです。</p>
会長	<p>カキの好きな人は、広島カキではなく江田島カキと指定していますので、通な人には有名になっていると思います。</p>
委員	<p>山間部に住んでいる知り合いが、カキ小屋でカキを食べているという話を聞いて、そういう場所でも需要があるので、大手でなくてもそういう取組を江田島でしてくれる人がいて、人が集まるようになれば食べられる場所も増えていくのかなと思います。</p>
委員	<p>こういう話をする機会が大事であり、子育て支援会議でも若い人が建設的な意見を良く出されています。PDCAサイクルの中で、市民満足度調査を毎年しますとありますが、それも大事なことではあります。厳しい意見も含めた生の声が聞ける仕組みをこのサイクルの中に入れていただければと思います。</p> <p>自治会や女性会、PTAの集まりや、成人式に参加した子どもたちなどが自分たちの町を考える機会を仕掛けていくことが必要だと思います。</p> <p>アンケートは書きたい人や、責任のない人も書きますが、会議では本当の声であり次に繋がる意見になるのではと思います。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

事務局	<p>審議会が開催される度に市議会に報告していますが、素案を説明した際に議員の方から、市民満足度調査を毎年やることは良いし、全員協議会で説明してもらうのも良いが、平場に出て行き総合計画がどうなっているのか、どういう事業をしているのかを説明していくべきだというご意見を頂きました。</p> <p>120程度のメニューの出前講座を全部署で行っており、総合計画が出来た後は、説明に出て行きたいと考えています。新年度以降、自治会や女性会の総会で説明させていただき、各団体で学習する機会を設定していただければ、その場面で意見を伺うことが出来ますので、そういった場で生の声を拾い上げていきたいと思っています。</p> <p>P D C Aサイクルの文章では「市民満足度調査の実施など」となっていますが、「出前講座や市民ワークショップの開催などで市民の皆さんの声を拾い上げる取組をします」といったような書きぶりに変更を検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>図はスペースの問題もありますが、文章中では、ローリングをする上でも、市民満足度調査だけでなく出前講座なども重視して生の声を吸い上げるということをぜひわかるようにしていただければと思います。</p>
事務局	<p>出前講座は、市民の興味や関心の深い、介護制度の仕組みやごみの分別収集、防災・救急救命関連といったメニューはニーズが高くなっています。</p> <p>呼んでいただかないと出向くことは難しいので、総合計画についてもぜひ呼んでいただければと思っています。</p>
委員	<p>出前講座で呼ばれるのを待つのではなく、仕掛けていくことが必要ではないかと思えます。評価をするときには仕掛けていかないと難しいかなと思えます。</p> <p>自動車ナンバーの地名部分に、自治体が認められればつけられるという報道を見て、「江田島」をつけたら動く広告になるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域の中で一定程度の登録台数が必要などの要件をクリアしないと、ご当地ナンバーとして認められない制度に現状ではなっていると把握しています。</p> <p>確かな数字ではありませんが、10万台以上の登録台数があれば各地のナンバーを登録できることとなりますので、現状では難しいかと思えます。</p> <p>制度が変わっているかについては、確認をしたいと思えます。</p>
委員	<p>P D C Aの話で盛り上がるというのは非常に珍しく、往々にしてやって欲しい事業を出し合うような形に会議はなりやすいので、非常に良い会議だなと思っています。</p> <p>委員の言われた会議などで生の声を聞くというのは、ぜひ進めていただきたいと思えます。</p> <p>計画は策定した段階で陳腐化していくので、作ることもそれを出発点にどうやって実現していくかが重要であり、P D C Aを行うことが必要です。</p> <p>市の計画であれば、地域へ出て行き、市民満足度調査で悪いと出たところがなぜなのかというポイントや良いとされるポイントも見えてくると思えますので、ぜひ地域に出て行って、本当の意見を聞かせてもらうというのが大事なかなと思えます。国の政策もころころと変わりますが、そういった物に左右されず軸足の太いところに重きを置いて、行っていただければと思います。</p> <p>最近ではK P Iというものを設定しなさいという事が言われています。なんなのかという、キーパフォーマンスインジケターと言い、何かをやったときに実績を評価するための重要な管理指標を示しなさいと言うことでした。</p> <p>そういう目で見ると、第2編では満足度や重要度といった形で指標が置いてあるので、これによって良いところや悪いところの評価が出来るかと思えますので、素晴らしいことだと思います。一方でプロジェクトの方にはその指標がありませんので、指標を置いていただくことが出来ないかなと思えます。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

<p>委員</p>	<p>地方創生の関係で全ての市町村について計画を作ることになっており、おそらく江田島市も取り組むことになると思いますが、指標が必ず求められますので、盛り込めるようであれば書いていただきたいと思います。</p> <p>例えば「島の緑の再生・活用」はどういったもので測るのかという指標、再生で森林の被服面積がどうなっているか、活用で森林公園の利用者などがどうかというのをういて点検評価が出来れば、市民に対してもどういう取組でどうなっているのかを具体的に説明出来るようになると思います。</p> <p>あまり時間がないので、難しいかもしれませんが考えていただければと思います。</p> <p>先程来、市民のもとに出て行くと言うときに、基本計画の分野別などで市民の役割や行政の責任の部分、国や県への要望・提案などという形で整理されていれば良いのかなと思います。</p> <p>教育・文化でも、教育委員会だけではできず、市民やPTAも一緒になってやらなければ出来ないこともある、と言うことを理解してもらうために、それぞれの役割が書いてあると良いのではないかと思います。</p> <p>行政の責任は果たしているか、市民の役割が出来ているかが目に見えることで満足度も上がってくると思いますので、実施計画のレベルでも良いですが、そういった内容があるとPDCAの質もぐっと上がるのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>実施計画を練っていく上での貴重なご意見をいただけたかと思えます。</p> <p>プロジェクトへの指標設定については検討したいと思います。</p> <p>市民や市、国・県の役割の切り分けが出来れば評価の時に、より精度が高いという提言を頂きましたので、工夫して盛り込める部分については検討したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>実施計画の中に、いくつか盛り込むことが出来るのではないかと思いますので、検討していただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>3頁の3 学校施設の整備の文章で「遠距離通学となった児童生徒」という表現がありますが、これは読み手にとっては望まないのに遠距離になったという感じで微妙な取られ方をするので、「遠距離通学児童生徒」という形に修正した方が良いのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>様々な意見を頂き、総合計画案については、相当煮詰まってきました。</p> <p>今回指摘のあった修正部分、字句修正については事務局と会長である私に一任していただければと思います。</p> <p>修正箇所については次回、説明させていただきたいと思えますので、基本的に本日の資料を答申の成案としてお認めいただけますでしょうか。</p> <p>（全委員異議なし）</p> <p>それでは、実施計画についての説明を、事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（3）第2次江田島市総合計画実施計画構成案について【資料3】</p> <p>それでは第2次江田島市総合計画実施計画構成案について、ご説明いたします。</p> <p>資料3を用いて説明いたしますので、ご覧ください。（「第2次江田島市総合計画実施計画構成案について」説明）</p> <p>※内容は資料3のとおり</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>行政における事務的な整理表であり、PDCAサイクルのDとCに当たる場所になるかと思えます。</p> <p>先ほどからいただいている意見を踏まえて、どのように工夫するかは事務局と会長である私に整理を任せていただければと思います。</p> <p>説明にもありましたが、非予算事業も掲載するということですので、この辺りをどう吸い上げていくかに、各委員の意見が生かされてくるかと思えます。</p>

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

委員	費用対効果というものがあり、一番良い施策はほとんど予算を使わずに大きな効果が得られる物ほど良いことはありません。 予算も大事ですが、その事業の結果が見えないと難しい部分もあるのかなと思いますので、そういう意味でも指標があると見えやすいのかなと感じました。 前面に予算が出すぎていると、予算が少ないじゃないかという誤解も生むかも知れないので、直接市民の方が点検という部分に関わる場合に正しい理解をしていただける形に工夫していただければと思います。
会長	実施計画は表だって公表するというものではないと思いますが、どうでしょうか。 開示要求をされた場合は出さないといけないと思いますが。
事務局	江田島市の行政内の作り込みで、一番上に基本構想があり、その下に基本計画、さらにこの実施計画となっています。実施計画は、市が事務事業を行う場合に基本計画のどこに属しているのかを見て取りながら、基本計画に対する事務事業をどれだけの予算をつけているのか、予算の全体像を見て財政計画を作成していますので、事業費が一覧に羅列されてしまいます。 この実施計画の下には事業整理票を作成しており、各事業の目的や目標、達成状況を書き込めるようになっていきます。審議会でその段階まで見て取っていただくことは難しいですが、そういった段階での作り込みをしている状況です。 今後は、その達成状況などにより予算査定などが行われていくこととなります。
委員	公表されないと言うことであれば、構成は良いのではないかと思います。
事務局	基本的には議会説明などでの利用となりますが、必要があれば今後5年間どういう事を考えているかをお示しする場合に使えるように工夫できればと思います。
会長	ぜひ、委員の意見を参考に工夫していただければと思います。
委員	事業計画と事業費は不可分の物であり、事業費がなければ議会資料にもならなくなります。一方で、この内容を議会があてにしたりするので、難しいところかも知れません。
事務局	財政計画も5年計画で作成しており、第3次行財政改革計画とセットで一緒に動くこととなります。3つがリンクしているわけですが、数字は1人歩きしやすく、将来的なことで目安程度にしかならない所もあります。 事業費の表ばかりが目立つ部分もあるので、実施計画を何のためにどう使うのかという視点から見て、本当にいるのかどうか、使いやすい資料で説明しやすくするのも合わせて検討は必要かも知れません。
委員	財政計画や実施計画といった3つの計画で数値が合うような形にして示してもらふ必要はあるかだと思います。
事務局	財政計画は生き物とも言えます。国が動けば市も大きく振れることとなります。 数年前までは財政基金も枯渇すると言われてきましたが、現状でも40億円近くある状況です。 財政状況に不服感はありますが、将来的に厳しいことは変わらないので、行財政改革も進めていかなければならないということで、行財政改革、財政計画、総合計画をセットで動かし、内部協議ですり合わせをしながら反映できるよう進めたいと思います。
会長	担当部署としては、一覧であればチェックしやすいかと思いますが、行政資料として整理していく必要はあるかだと思います。 事務局からも出来るところは反映させていきたいと言うことでしたので、事務局と会長である私に一任していただければと思います。 次回についても、今後に向けた参考意見をいただければと思います。 その他事務局から何かありますか。
事務局	4 その他 今後の流れとして、頂いた意見を元に会長と調整しながら修正し、次回は答申案をお示しします。今後のための意見などを受けた上で、その日の内に答申して頂くことを考えていますので、よろしく願います。

【平成27年1月14日：第2次江田島市総合計画審議会（第9回）要点録】

会長	<p>次回審議会の日程は、2月10日（火）の午前10時から最後の審議会を開催させて頂きたいと思っております。その後、その日の内に答申したいと思っておりますがよろしいでしょうか。欠席されている委員には日程調整をよろしくお願いできればと思っております。</p> <p>では、次回は2月10日の午前10時からでお願いいたします。 欠席されている委員には、議事録を送付し、今日の状況がわかるように説明して頂ければと思っております。</p> <p>5 閉会 本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
----	--